

# カルテック アミノ酸液

魚と海藻の栄養液

1リットル入り  
10リットル入り  
20リットル入り

作物にチッソ(N)等の栄養成分を供給するには 完全有機で、強力な速効性のアミノ酸液が最も効果的です。急激・旺盛に生長を進め、しかも無機チッソのような弊害が無く、ほとんどチッソ過多に陥りません。

- ▶ 新芽がスクスクと太く旺盛に伸び、葉はテリ(光沢)のある強い緑色で、モリモリ分厚くなります。
- ▶ 組織が緻密で瑞々しく充実してズッシリ重くなり、花や果実の肥大・品質向上にも極めて有効です。
- ▶ 土壌微生物も急増殖し 冬期の地温上昇、急速な団粒構造化を示し、膨軟で豊かな地力が回復します。

## アミノ酸の機能とは…

タン白質をはじめ、チッソ(N)を含む有機物群は土壤中で微生物の活動とともに循環しています。全てのチッソ有機物を構成する基本単位(共通部品)は《アミノ酸》で、微生物にも植物の根にも、最も速効的・強力な有機栄養(滋養)となります。

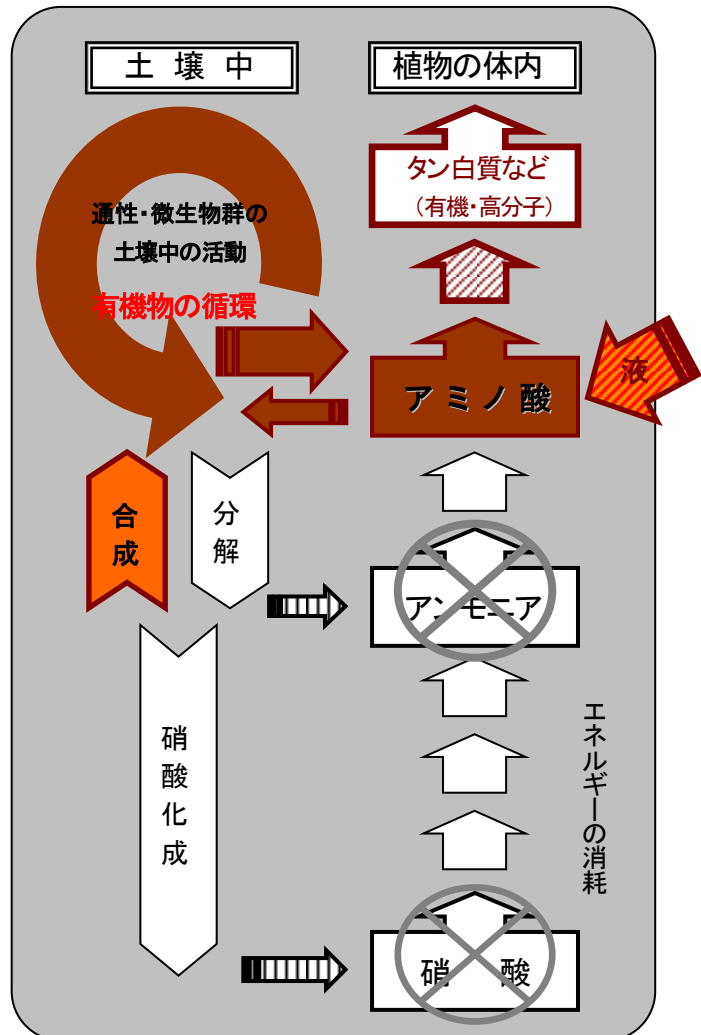
植物は一般の有機物をそのままの形態では吸収できませんが、有機物のなかでも《アミノ酸》は直接に吸収・活用できます。植物にチッソが必要なのは、じつは《アミノ酸》が必要なのです。

土壤中でチッソ有機物が分解・無機化すると、《アンモニア》、更に《硝酸》になります。これらが根から吸収されると、植物体内の無機チッソ同化・有機物合成の数段階の経路で多量のエネルギーを消耗します。植物は光合成産物のデンプン(糖分)を消費して衰弱し、チッソ過多に陥ります。

無機チッソ、特に《硝酸》は過剰に吸収されやすく、品質を劣悪にし、生育を萎縮させ、病害を増やし、花や果実の成熟を妨げますから、なるべく吸収を少なくする事が健全な栽培の鉄則です。

これと対照的に、《アミノ酸》はチッソ同化経路を省略(ショートカット)してそのまま直ちに植物体内の有機合成に活用されます。直接の有効性が最も強烈で、植物にエネルギーを消耗させないので、曇雨天が続いて日照不足の時にも作物を健康・旺盛に生長させ、品質を向上させます。

作物の健全・旺盛な生長に大事な《アミノ酸》の直接的栄養作用を発揮させるためには、微生物を活用した地力作りをし、かつ、液肥は無機チッソでなく《アミノ酸》を与えることが最重要です。



チッソ(N)栄養は…アミノ酸 液肥はこれが最高！！

完全有機・速効性・チッソ栄養液で、健康・高品質、旺盛な生長を！！

## カルテック アミノ酸液

〈高濃度・海の栄養液〉

【内容】 (成分は分析例です。化学的成分調整をしていませんので、製品により多少の変動があります。)	
原材料	厳選した <b>魚液</b> (鰹)と <b>海藻</b> (昆布などの褐藻) の分解・抽出・濃縮物。及び醗酵有機液。 ★特に濃厚で、油分除去・口過・熟成を重ねた精製品です。無機成分は一切、添加していません。
主な含有・有機物	<b>アミノ酸</b> (ないしオリゴ・ペプチド) : 約 <b>40%</b> , <b>アルギン酸</b> , <b>有機酸</b> , <b>核酸類</b> (微量元素)
アミノ酸組成 (液中% 分析例)	<ul style="list-style-type: none"> <li>グルタミン酸 : 約9% …… 代謝の活発化、旨味をのせる成分</li> <li>アルギニン : 約3% …… 細胞の活力を引出す、疲労回復作用</li> <li>グリシン : 約2.5% …… 葉緑素・核酸の増加、組織生長促進</li> <li>プロリン : 約2.5% …… 糖増加、細胞膜形成、花と実の着生</li> <li>アスパラギン酸, アスパラギン, ロイシン, メチオニン : 計 約9%</li> <li>リシン, フェニルアラニン, バリン, アラニン, セリン : 計 約8%、他</li> </ul> <p>★植物に活力を賦与し、健康・高品質にするアミノ酸を多く含みます。またアミノ酸が結合した形態の ジ・ペプチド、オリゴ・ペプチドが 高い生理活性を發揮します。 (原料に多く含まれるタン白質: コラーゲン, プロタミン等から由来する特性です。)</p>
成分分析例 (理想的な成分 バランス)	(重量比) チッソ : 約 <b>3%</b> , リン酸 : 約 <b>0.2%</b> , カリ : 約 <b>0.8%</b> (塩分: 1%未満、原液 pH: 5.5) ★この液の成分は <b>100%完全に</b> アミノ酸 (ないしペプチド) ・有機物からなります。 (注: 無機成分の液体肥料に少量の有機分を添加したような「アミノ酸入り液肥」ではありません。)

## 【主な使い方】

<b>灌水</b>	<p>10アール当り <b>5~20リットル</b>を 希釈・灌水。 (点滴灌水も可能) (希釈倍率は100倍以上、適宜。ただし茎葉にかかる場合は300倍以上)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>★一般には <b>10リットル</b>ずつ、半月ないし一月ごと、定期的に灌水施用します。</li> <li>★特に疲労・肥切れの時は <b>20リットル</b>灌水で、肥沃な地力を回復させ 生長を強壮にします。</li> <li>★必ず根を見て、根が衰弱している場合は <b>先ず酵素液</b>の灌水で 根を回復させて下さい。 また、<b>アミノ酸液</b>と<b>酵素液</b>(3リットル程)の<b>混用</b>は 速効的で顕著な生長増進効果があります。</li> <li>★通常、液肥による肥料分の補給は <b>アミノ酸液</b>を与えれば充分です。これ以外のものは不要です。</li> </ul>
<b>灌注</b>	<p>300倍希釈液を灌注。 灌注機では 1株当り400cc程度 (以上) を灌注します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>★特に速効的に、根圏と根、そして植物全体を回復させ、旺盛な生長を促します。</li> </ul>
<b>葉面散布</b>	<p><b>500倍希釈</b>。 (特に強く効かせたい場合は 300倍の濃厚液を散布する事もあります)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>★一般には 週ごと、ないし半月ごとに葉面散布します。 (近接散布の場合は3日間隔で散布)</li> <li>★葉にツヤと厚みを増し、鮮やかで強い緑色とします。病害やダニ、スリップス等の虫害も軽減。</li> <li>★特に葉が傷んでいる場合は、<b>酵素液</b>と<b>混用</b> (両者とも500倍) すると 強い効果があります。</li> <li>★農薬と混用する際は 先に農薬を薄めの希釈倍率で溶かします。予め一部でテストして下さい。</li> </ul>
<b>苗への散布</b>	<p>小さい苗では<b>1000倍</b>、通常の苗なら<b>500倍</b>希釈液を 葉の上から 床土・根まで染み込むほど、タツプリと散布します。(3~7日ごとに)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>★苗の充実・生長を促し、チッソ過多にはしないので、育苗中の栄養液として最適です。</li> </ul>
<b>水田への施用</b>	<p>10アール当り <b>5リットル (~20リットル)</b> を 水口に点滴しながら、水を流入れ。</p>

★《厳守事項》栽培の基本は 健康な地力と根の力で (植物の自力で) 生長を進める事です。アミノ酸液はその補助としての栄養液ですので、効き目が判りやすいからといって これだけに頼りすぎないよう ご注意下さい。

【注意】人体に有害な物質は含まませんが、飲食品ではありません。栓をして、猫や蠅の来ない 冷暗所に保管し、もし誤って顔などに付着した場合は 石ケンでよく洗い 落として下さい。また、長期間の保管後に使用する場合は、容器ごと揺すって 液全体を混合して下さい。一般の液肥類との混用は可能ですが、お勧めしません。本品単独の施用で 通常の作物の生長に適した栄養バランスを保持できます。石灰硫黄合剤や、アルカリ性の薬剤類とは混合しないで下さい。